

2025 年度 入社式挨拶

皆さん、おはようございます。

大陽日酸北海道株式会社の代表取締役社長の田村です。

入社おめでとうございます。

本日皆さんと入社式を迎えられたことを嬉しく思います。

大陽日酸北海道は皆さんを新しい仲間として、心から歓迎します。

入社式にあたり、私から皆さんに、社会人として、大陽日酸北海道の一員として期待することを少しお話させていただきます。

皆さんはつい先日まで学生として、勉強や研究、サークル活動をしたり、アルバイトをしたり、日々忙しい生活を送られてきたと思います。本業である学業については、定期試験、卒論などにより自身の理解度を確認されてきたと思います。

一方で、仕事においては学生時代のように定期的な試験はありません。

ですから、皆さん自身が「何が自分の成長になるか」を考えて、それに励み、それを実感するしかありません。

これからは意識的に自分が「成長すること」を目指してほしいと思います。

皆さんにはこの後、社内やグループ会社で研修を受けてもらい、製造・技術の部署で仕事をしてもらうことになります。まず認識しておいていただきたいのは、当社はガスを製造し販売することを本業とするメーカーです。

当社はミッション、つまり「会社の存在意義」として、

「The Gas Professionals として、北海道の産業・生活・健康に貢献します」 を掲げています。

これから配属される製造部は主力製品である液化ガスやシリンダーの製造を担います。

また技術部はユーザーのガス設備工事やメンテナンス業務、技術基準類や保安の監理を行うなど、

両部署は当社の事業の基盤となる部署です。

これから配属されるそれぞれの部署での仕事に、誇りと気概を持って仕事をしていただきたいと思います。

皆さんはこれから「一緒に働く仲間」ができるわけですが、その仲間一人ひとりに興味・関心を持ってください。

その人たちはこれから平日の大半の時間を一緒に過ごす人たちです。

一人ひとりがどういう仕事をして、何に一生懸命取り組んでいるのか。どんな考えで、仕事はもちろん日々の生活を送り、どんなことに興味を持っているのか。規模としてはそれほど大きくない会社ですが行っている事業はとても幅広く、全員の想いがまとまっていなければ成り立たない仕事です。

一日も早く、部署において「なくてはならない人」と認められることを目指して、頑張ってくださいと思います。

会社もその期待や想いに応えられるような中身にしていくことを約束します。

北海道の産業・生活・健康に貢献でき、私たちが少しでも成長できるような会社になるように、ともに頑張っていきたいと思います。

令和7年4月1日

大陽日酸北海道株式会社

代表取締役社長 田村憲一